

# 小児慢性疾患研究(臓器班)報告

——日本人小児の高脂血症に関する疫学的並びに臨床的研究——

班員	都立小児病院	熊谷通夫
研究協力者	弘前大	佐々木直亮
	岩手医大	若生宏
	都立老人研	篠野脩一
	日大	大國真彦
	東京女子医大	草川三治
	日大	北川照男
	慶大	五島雄一郎
	慶大	菅野剛史
	慶大	細田泰弘
	阪大	藪内百治
	九大	本田 恵

## I. 報 告

先進工業国における虚血性心疾患は国民保健上の最大課題の一つとなっているが、近い将来わが国においても国民保健上の一大恐威となることは確実といえよう。従来はその対策、即ち予防乃至は抑止については専ら成人を対象として行われてきた。しかし病変の成立過程を考えると、又最近の報告にみられる病変の可逆性を考えるときに、その対策は小児期に始められなければならないことが明らかにされてきている。虚血性心疾患発症の要因の最大なものは冠動脈の硬化性変化であるが、実にこの動脈の硬化性変化の起源が乳幼児期に始まること、又、その病変の進展を促進する危険因子が小児期より長年に渉って影響を及ぼしていることを考えると、動脈硬化症の予防乃至発症抑止は小児期より始めなければ効果のないことは明白の理といわざるを得ない。この点に関する小児期の基礎的データを集積し、予防乃至治療に応用する必要性はさしせまった問題と考えられる。本研究班はこの目的に沿って、日本人小児の動脈の経年的変化の実態の把握、地理的生活環境の異なる条件下におけ

る危険因子の実態の把握を目的として以下の研究を行った。

### 1. 病理組織学的検討

大動脈及び冠動脈の硬化性変化の年令的推移

(細田泰弘)

冠動脈脂質沈着と血液脂質

(本田 恵)

### 2. 日本人小児の血液脂質及危険因子との関係

(若生 宏, 篠野 脩一)  
 (大國 真彦, 草川 三治)  
 (北川 照男, 熊谷 通夫)  
 (藪内 百治)

臍帯血の脂質の検討

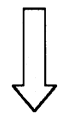
(五島雄一郎, 菅野剛史)  
 (熊谷通夫)

### 3. 小児の血圧測定の見直し

(佐々木真亮)

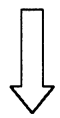
### 4. 肥満指数の検討

(篠野 脩一)



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



### . 報告

先進工業国における虚血性心疾患は国民保健上の最大課題の一つとなっているが、近い将来わが国においても国民保健上の一大恐威となることは確実といえよう。従来はその対策、即ち予防乃至は抑止については専ら成人を対象として行われてきた。しかし病変の成立過程を考えると、又最近の報告にみられる病変の可逆性を考えるときに、その対策は小児期に始められなければならないことが明らかにされてきている。虚血性心疾患発症の要因の最大なものは冠動脈の硬化性変化であるが、実にこの動脈の硬化性変化の起源が乳幼児期に始まること、又、その病変の進展を促進する危険因子が小児期より長年に渉って影響を及ぼしていることを考えると、動脈硬化症の予防乃至発症抑止は小児期より始めなければ効果のなしいことは明白の理といわざるを得ない。この点に関する小児期の基礎的データを集積し、予防乃至治療に応用する必要性はさしせまった問題と考えられる。本研究班はこの目的に沿って、日本人小児の動脈の経年的変化の実態の把握、地理的生活環境の異なる条件下における危険因子の実態の把握を目的として以下の研究を行った。